

■通信欄の主な意見

- ・ 日本は大震災により、原子力発電の方法が危険という認識になったと思いますが、他に発電の方法にどのようなのがあって、それに移行するには、負担しなければならない部分があるのか、どうかなど知らせて欲しいです。
- ・ 災害は忘れたころにやってくる。今では、いつでも自分のところにやってくる。このことから、各県からの具体的な気候変動対策が急務である。このままでは、多くの方が災害に見舞われてしまう。この国は全てなんでも結果論でしか言っていない。
- ・ 20 世紀までは、武器による欲望の戦争をしてきたが、21 世紀以降は、人間自身の生命の源である地球本体を破壊する欲望の戦争になっていて、欧米列強による歴史の不公平・不公正が全体のまとまりを阻害している。いわゆる先進国は、過去の独占を猛省し、もっともっと譲歩した提案・目標を出すべきだと思う。
- ・ ヨーロッパ、先進国は、熱心ですが、アメリカ、中国、ロシアにもっと働きかけるべきではないか。
- ・ COP25 は不調に終わりました。日本は「化石賞」を二度もらいました。市民団体はいろいろ活動してきましたが、市民の意識はまだまだです。まず、日本政府が真剣に取り組むことが第一だと思います。
- ・ 温暖化対策は、待ったなしと思うが、COP25 の削減量の先送りや日本の化石賞など、不安なことが膨らむばかりの昨今だ。
- ・ 再生可能エネルギーへのシフトは最重要。1.5 度目標と 2050 年脱炭素を国は挙げるべき。
- ・ 石炭火力や原子力に力を入れるよりも、再生自然エネルギーを活用する方向性に明確に舵を切るよう国に求めていくことが必要に思います。
- ・ 日本経済を後退させることなく、CO₂を削減するためにも発電時にはCO₂を発生しない火力発電や、太陽光や地熱や、これから考えられるエネルギーを生み出すものを開発するなどして、高い目標額で頑張っていないと現時点でも異常気象となっている環境を変えることはできないと思います。
- ・ 企業及び消費者に対して、環境、SDGs の観点から、コンサルや提言を行っているが、①価値観の多様化、②安全・安心の面からの衛生、③生活水準の向上等により、各人の行動の変容を促すスローガンや具体的な内容を伝えて、統一化することが難しくなっている。併せて、各国の生活水準の相違により、途上国がもっと豊かになろうとすると、結果的に CO₂ 排出量が増加する中で、どこに、折り合いを見出していくかがとても難しいと思う。ただし、各人が各人の価値観に沿った行動を起こしたり、行動していく範囲や領域を増やしていくことは可能なので、地道に続けていきたい。
- ・ CO₂ 削減について、ニュース等で見聞きするが、自分の周辺で具体的な努力を見ることは非常に少ない。公務員や一部の消費者団体は「CO₂ 削減」と言っているが、彼ら彼女

らのプライベートは努力しているようには見えない。自分のできることはしているが、あまり話題にすることは、はばかれる雰囲気だ。

- ・ CO2 排出量削減については、友人とも話をするが、何%と言われても実感がわからない。個人対策として、例えば、〇〇ワットの電気器具を 1 時間使う何 g の CO2 が削減になる等、分かりやすく示してみてもどうか。毎日、マイバッグを使うことで一般市民は何 g のレジ袋を 1 年で使わないか、等々。
- ・ グレタ・トゥンベリさんをはじめ、若者たちが声を挙げている姿を頼もしく思っています。私たちの世代が環境を破壊してきてしまったことに責任を感じています。
- ・ 意識すると、食物を腐らせて捨てることの方が思ったより多くあり反省。いただき物、口に合わなかったり差し上げる方もちょうどよい人が見つからぬまま、腐らせてしまう。太ってきたので、太りたくないため。
- ・ 車をなるべく使わず、公共交通機関や自転車、または歩きで行動する。旬の野菜を食べるようにしている。庭の活用(野菜くずを肥料として家庭菜園で野菜づくりをしている)。
- ・ マイバッグやマイかごを利用したり、無駄な電気を使用しない等、できることから実践していきます。
- ・ アンケート調査内容にやや不満。次の一手の施策を仮説として立てて、回答を求めると、回答者にも考える機会を提供するのでは、と思った。